

アメリカシロヒトリの駆除について

・アメリカシロヒトリとは？

外来種の白い小型の蛾です。幼虫（毛虫）は、黒く、白毛で覆われ、体長は3cmほどです。繁殖力が強く、数百から数千の卵を産むと、10日ほどで幼虫になります。年に2回巣網を張って、植物を食い荒らし、そのまま放置すると周囲の樹木まで丸坊主になってしまいます。

被害に合いやすい樹木は、サクラやカキ、ウメ、ハナミズキ、プラタナスなどの落葉広葉樹です。

・発生時期

さなぎ	成虫産卵	被害 幼虫	さなぎ	成虫産卵	被害 幼虫	さなぎ
		駆除			駆除	
6月	7月	8月	9月	10月～		

※気象条件等によって変動しますが、おおよそ表の時期に年2回発生します。

・駆除について

＊早期段階（巣網・卵からかえったばかりの頃）

早期の駆除が最も効果的です。

卵からかえったばかりの幼虫は、吐いた糸で作った巣に1週間ほど留まっています。クモの巣状になっているので、簡単に見つけることができます。この時期に巣網ごと枝葉を切り取り、ごみ袋に入れて、燃えるごみとして出してください。



↑巣網の状態。枝ごと切り除しましょう。

＊拡散後

発見が遅れ、すでに巣網から拡散してしまった場合には、スミチオン乳剤や、トレボン乳剤などの薬剤が、効果的とされています。最寄りの販売店にご相談ください。なお、環境課にて噴霧器の貸し出しや、薬剤の配付をしておりますが、数に限りがありますので、事前にお問い合わせ下さい。散布にあたっては、使用説明書等をよく読み、近隣の人や動物、作物、洗濯物、車などに気を付けて下さい。散布する人も、肌が露出しないよう十分に気を付けてください。

＊自ら駆除できない場合

自ら駆除できない場合は、造園・害虫処理業者へ直接ご相談ください。

◎極力農薬に頼らない環境にやさしい方法で、市内の樹木を保全することを考えております。皆様のご協力をお願いいたします。

アメリカシロヒトリは、肌に触れても毒は無く、アレルギー体質の人を除いては、被害がほとんど見受けられません。空き地や空き家などは、気付かない間に発生して、隣接する土地まで被害を及ぼすケースもあります。被害発生時期の頃には、所有している土地の状況について、確認しましょう。

お互いの住みよい環境づくりのために、早期駆除にご協力をお願いします。

問い合わせ先 市役所環境課 88-9129